

世紀末から 20 世紀へ Part XV

(ユダヤ人作曲家の歌曲を集めて Vol.2)

GROSZ

W. グロース (1894-1939) 「愛の歌第二集 作品 22」

ZEMLINSKY

A. ツェムリンスキー (1871-1942) 「4つの歌曲 (1916)」より

SCHREKER

F. シュレーカー (1878-1934) 「2つの愛の歌 (1897)」より

KORNGOLD

E.W. コルンゴルド (1897-1957) 「3つの歌曲 作品 22」他

Lied Duo Recital

リートデュオリサイタル



長島剛子
Takeko Nagashima
(Soprano)



梅本実
Minoru Umemoto
(Klavier)

札幌
公演

2016 10/28 (金)

19 時 開演：ふきのとうホール 札幌市中央区北 4 条西 6 丁目 3-3 六花亭札幌本店 7 階

全自由席 ¥3,000

お問合せ：平和ステージ・オフィス TEL.011-665-0675
チケット取扱先：大丸・道新・教文の各プレイガイド

東京
公演

2016 11/04 (金)

19 時 開演：東京文化会館小ホール JR 上野駅公園口前

全自由席 ¥4,000

お問合せ：(公社) 日本演奏連盟 (コンサートアシスト) TEL.03-3539-5131
チケット取扱先：東京文化会館チケットサービス TEL.03-5685-0650

※このリサイタルは国立音楽大学個人研究費 (特別支給) の助成を受けています。

後援：札幌市・札幌市教育委員会 公益財団法人 道庁文化財団 北海道新聞社 公益社団法人 日本演奏連盟 日本アルバン・ベルク協会

LiedDuoRecital

長島剛子 (ソプラノ / Takeko NAGASHIMA)

PROFILE

梅本実 (ピアノ / Minoru UMEMOTO)

札幌に生まれる。

北星学園女子高等学校音楽科を経て、国立音楽大学声楽科卒業。同大学院修士課程独歌専攻修了。ドイツ・デットモルト北西音楽大学卒業。その後ケルン音楽大学マスターにてリト解釈法の研鑽を積む。1998年に「長島剛子・梅本実 リートデュオ」を結成し、声楽とピアノによる緊密なコラボレーションにより、19世紀末から20世紀のドイツ歌曲の演奏と紹介を軸に継続的な活動を行っている。2001年にスタートした「世紀末から20世紀へ」のリサイタルシリーズは昨秋で14回を数えその間知られざる作曲家を含め、のべ37人の近現代作曲家の作品を取り上げたが、19世紀末以降のドイツ歌曲を網羅するレパートリーの広さは他の追随を許さない。またシリーズごとにテーマを設定し、様々な切り口でドイツ歌曲をプログラミングする独自の企画とその演奏水準の高さで毎回多くの反響を得ている。1998年「新ウィーン楽派」、2001年「世紀末から20世紀へ」のリサイタルにより札幌市民芸術祭大賞。また2003年1月には前年の「長島剛子・梅本実リートデュオ・リサイタル―世紀末から20世紀へPart II (シェーンベルク:『架空庭園の書』による15の歌曲他)」により平成14年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞している。2015年3月にコジマ録音よりCD「架空庭園の書―新ウィーン楽派の歌曲を集めて」をリリース。青木惠美子、伊藤京子、尾畑真知子、H.クレッチマー、白井光子、H.ヘルムの各氏に師事。現在、国立音楽大学准教授。



長崎に生まれる。

幼少の頃よりピアノを始め、福岡音楽学院で学ぶ。東京藝術大学附属音楽高等学校、東京藝術大学を経て同大学院修士課程器楽科ピアノ専攻修了。未永博子、勝谷壽子、伊達純の各氏に師事。ドイツ・デットモルト北西音楽大学卒業。さらに引き続きハンブルクにて研鑽を積む。RF.クレッチマーC.ハンゼンの各氏に師事。帰国後東京、札幌、福岡各地でソロリサイタル開催。札幌交響楽団、九州交響楽団と共演。またドイツ歌曲の共演ピアニストとして各地で幅広い活動を続けている。文部省在外研修員としてドイツ・カールスルーエ音楽大学において白井光子・H.ヘルムのドイツリート解釈法クラスで学ぶ。作品内容の的確な把握に基づいて、響きを繊細にコントロールするピアノズムは、長島とのリートデュオに遺憾なく発揮されている。「札幌市民芸術祭大賞」(1999年、2002年)、「第9回道知芸術文化奨励賞」(2000年)、「第29回札幌文化奨励賞」(2001年)、「平成14年度文化庁芸術祭優秀賞」(2003年)受賞。北海道教育大学助教を経て、現在、国立音楽大学准教授。

長島剛子・梅本実リートデュオによるリサイタル

1998年	新ウィーン楽派の歌曲を集めて (ツェムリンスキー、シェーンベルク、ベルク、ヴェーベルン)	2008年	世紀末から20世紀へPartVII―メーリケとヘルダリーンの詩による歌曲を集めて (フランツ、プフィツナー、シェック、ヴォルフ、アイスラー、コマ、ロイター)
1999年	ゲーテの詩による歌曲を集めて (シューベルト、リスト、R.シュトラウス、ヴェーベルン、グリーグ、メンデルスゾーン、ヴォルフ)	2009年	世紀末から20世紀へPartVIII (マルクス、ヴェーベルン、ヒンデミット)
2001年	世紀末から20世紀へ―二人のマラーをめぐる作曲家たち (A.マラー、G.マラー、コルンゴルト、ヴェーベルン、R.シュトラウス)	2010年	世紀末から20世紀へPartIX―ユダヤ人作曲家の作品を集めて (グロス、ウルマン、ヴァイル、マラー)
2002年	世紀末から20世紀へPartII (シュレーカー、マルクス、シェーンベルク)	2011年	世紀末から20世紀へPartX―第三帝国で禁じられた歌曲 (ヒンデミット、コルンゴルト、クルジュネク、マラー)
2003年	世紀末から20世紀へPartIII―ヴォルフとその後 (ヴォルフ、プフィツナー、クルジュネク、ロイター)	2012年	世紀末から20世紀へPartXI―シェーンベルク「月に憑かれたピエロ」誕生100年を記念して (コリスキ、マルシャルク、ローター、フリースランダー、マルクス、川島、シェーンベルク)
2005年	世紀末から20世紀へPartIV―A.シェーンベルクの歌曲 (『月に憑かれたピエロ』他)	2013年	世紀末から20世紀へPartXII―新ウィーン楽派の歌曲を集めて (ツェムリンスキー、ベルク、ヴェーベルン、シェーンベルク)
2006年	世紀末から20世紀へPartV (R.シュトラウス、ヴォルフ、マラー「大地の歌」(ピアノ版)他)	2014年	世紀末から20世紀へPartXIII―マラーとシュトラウスの歌曲 (G.マラー、R.シュトラウス)
2007年	世紀末から20世紀へPartVI―ツェムリンスキーを巡る作曲家たち (ツェムリンスキー、A.マラー、ベルク、ヴェーベルン、コルンゴルト)	2015年	世紀末から20世紀へPartXIV―ヘルダリーンの詩による歌曲 (ヴォルター、プフィツナー、ブリテン、リグティ、リーム、ウルマン、アイスラー、コマ、ロイター)

CD INFORMATION

人間の内面をえぐる、
新たな美学に貫かれた歌がここにある

『架空庭園の書』

～新ウィーン楽派の歌曲を集めて～

- **シェーンベルク**
プレットリーダーより
4つの歌曲 作品2
- **ヴェーベルン**
『第7の環』による5つの歌曲 作品3
- **ベルク**
4つの歌曲 作品2

長島 剛子 (ソプラノ) 梅本 実 (ピアノ) 製造・発売元: コジマ録音



ALCD-9147 税込価格 ¥3,024

レコード芸術 2015年5月号

・・・『架空庭園の書』はこれまた世紀末風の奥深い神秘感に貫かれ、出口のない愛の高揚感と抑鬱感、緊張感と安堵感、麗しの観しと不安のなかでほかに明るくい出口をまさぐる様子を的確に表現している。新ウィーン楽派の持ち味にピアノとともにこれほど魅力的に迫りえた演奏もまれだ。(喜多尾道冬)

音楽現代 2015年5月号

・・・ロマン派的作品はロマン派的に、表現主義的作品は表現主義的に、作品のあるべき姿がストレートに提示される。これは、楽曲を真摯に分析し、顕微鏡的に精緻な演奏を行い始めて実現する地平。・・・『架空庭園の書』の演奏も、後述の挿録となり得る見事さだ。(石塚潤一)